

産地情報(8年産)

8年産七夕こしひかり生育情報(第3報)

JAさが東京営業所

水稻情報田の生育データ(調査日:令和8年6月18日)

	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色SPAD
本年値			
(移植日4月6日)	72.1	601	30.0
前年値	71.5	629	38.1
平年値	71.2	567	32.5

生育経過(令和8年6月23日現在)

茎数は十分に確保され、良好な生育状況で推移しています。

5月の気温が平年を上回って推移したことから、生育は平年より早く進み、出穂期は平年より約1週間早い6月21日～22日頃となりました。

現在の積算気温から推定すると、収穫開始時期は7月25日前後となる見込みで、例年より早い収穫が予想されます。

今後は登熟期間の適切な栽培管理を行うとともに、斑点米カメムシ類の防除を徹底し、品質確保に努めます。



今週の玄米入荷情報

魚沼コシヒカリ中里新潟
コシヒカリ佐渡

会津コシヒカリHG

富山コシヒカリ

福井コシヒカリ

福井いちほまれ特裁

山形つや姫特裁

岩手ひとめぼれ前沢

宮城ササニシキ登米特裁

宮城つや姫登米特裁

秋田サキホコレ特裁

群馬あさひの夢

佐賀夢しずく特裁

佐賀さがびより

佐賀米のはじまり 縄文・弥生時代

佐賀県は、日本でも最も早い時期に水田稲作が始まった地域の一つとされています。

唐津市の菜畑遺跡(なばたけいせき)では縄文時代晩期の水田跡が見つかっていて、現在確認されている中で日本最古級の水田跡とされています。

また、神埼市の吉野ヶ里遺跡では、弥生時代の大規模な環濠集落とともに米を蓄える倉庫跡が見つかっており、稲作とともに社会が発展していったことが分かります。



【生育】富山は葉色かなり薄い、早生は7日早い

【富山】6月23日現在の生育は、高温の影響で茎数が過剰になったことから、引き続き葉色がかなり薄い(栄養不足)。早生にあたるてんたかくの幼穂形成期は近年比7日早い6月17日となり、このペースで進めば7月8日に出穂期を迎え、8月12日にも成熟期に達する見通し。



黒埼茶豆のご案内

新潟市旧黒埼町「木場地区」より



香り豊かでコクのある甘味の枝豆です。
是非、この機会にお楽しみください。

注文締切 2026年7月28日
納品予定日 2026年8月中旬予定

	コシヒカリ	富山	てんたかく	てんこもり
草丈	長い (+ 10%)	やや長い (+ 6%)	長い (+ 15%)	長い (+ 10%)
茎数	多い (+ 10%)	多い (+ 15%)	並 (▲ 1%)	やや多い (+ 8%)
葉数	早い (+ 0.7)	やや早い (+ 0.6)	早い (+ 0.7)	早い (+ 0.7)
葉色 (SPAD値)	薄い (▲ 2.6)	薄い (▲ 3.4)	薄い (▲ 4.3)	薄い (▲ 3.2)

注) 下段カッコ内は平年値との比較。